

2017年10月30日

平田産業有限会社代表取締役社長 平田 繁實様

たねと食とひと@フォーラム 共同代表 吉森弘子
共同代表 高橋広一

101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21

ちよだプラットフォームスクウェア 1342

TEL: 03-6869-7206 FAX: 03-6869-7204

Email: info@nongmseed.jp

<http://nongmseed.jp/>

「食用油の原材料について」

昨年度は弊会が実施する公開質問にご協力くださり、ありがとうございました。

今年度も、貴社が製造販売されている食用油の原材料および現在の取り組みと今後の方向性について、公開質問状を送付させていただきます。

我が国では菜種、トウモロコシ、大豆など食用油の原材料の多くを、アメリカ・カナダ・オーストラリアを中心とした海外からの輸入に頼っている状態が続いています。世界的な遺伝子組み換え作物の市場拡大に比例し、遺伝子組み換え原材料や由来の食品が私たちの食卓に上る機会は増加傾向にあります。加えて利便性の追求のために、食品に添加される成分にも遺伝子組み換え原材料由来のものが増えており、健康志向からこのような現状を懸念する消費者の声もあります。

遺伝子組み換えの問題については様々な意見がありますが、消費者がひろく情報を得たうえで選択できる仕組みが、私たちの社会には必要だと考えています。

つきましては、恐れいりますが、別紙質問について11月13日(月)までに弊会にご回答をお送り願います。なお、ご回答はその有無も含めて弊会のホームページ等に掲載させていただきます。ご了承ください。

平田産業有限会社御中

公開質問状

「食用油の原材料について」

質問① 貴社製品原材料の原産国、非遺伝子組み換え原材料の分別状況についてお答えください。

質問② 産地から貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法について、お答えください。

質問③ 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えのものに変更する予定はありますか。予定の有無とともに、その理由もお答えください。

質問④ 遺伝子組み換えでない原材料の入手にかかわる状況は、昨年度と比べて変化はありますか。

質問⑤ 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給し続けるためには、どのような課題があるとお考えですか。